

事故防止で団体割引をUP!

※一般社団法人日本損害保険協会資料より抜粋

みんなで実践! **交通事故防止!**

加齢に伴い、視力・聴力・認知判断力や筋力など、身体機能が変化し、また、長年の「習慣」で危険な行動をとってしまうことも。交通事故の「加害者」にも「被害者」にもならないために、身体機能に応じた安全な行動を実践しましょう。

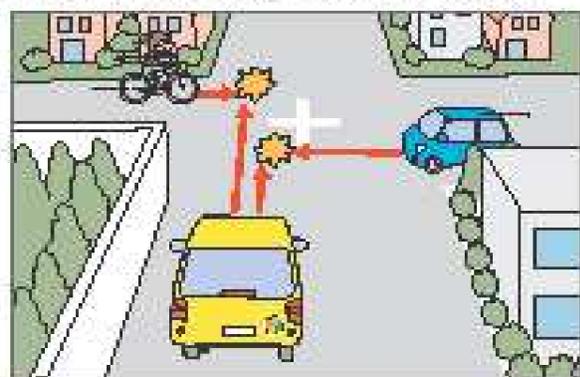
高齢ドライバーに多い事故パターン^(※)と必ずやってほしい

※交通事故データは、2011年から2015年までの5年間における警察庁統計による(85歳以上、原付以上車1当事者)

3つの行動

事故パターン 1

出会い頭の事故が全体の約30%!



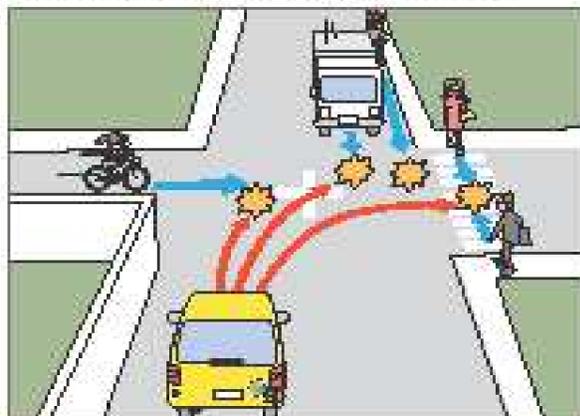
行動 1

見通しが悪ければ、**徐行**が必要。
一時停止の交差点では、しっかり**停止**!



事故パターン 2

右折中の事故が全体の約17%!



行動 2

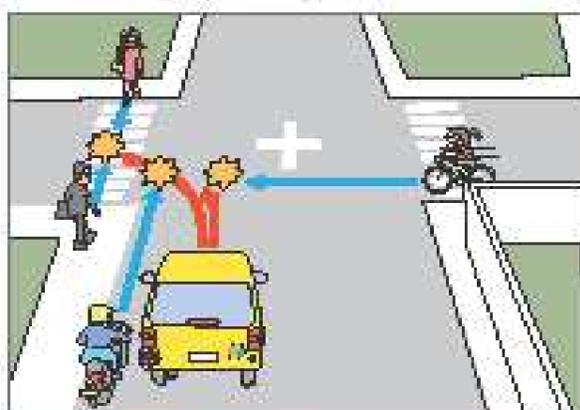
右折は急がず慎重に!

急いで曲がると安全確認がおろそかに。対向車の速度を見誤ったり、対向車の隣のバイクなどを見落とすことも!



事故パターン 3

左折中の事故が全体の約9%!



行動 3

左折は後方の確認も大切!

左後方の安全を確認して道路の左端に寄りましょう。
徐行して前後左右の安全確認。



このほか「追突事故」や「工作物に衝突するなどの死亡事故」も多発しています。
しっかり前を見て的確な運転操作に努めるほか、体調の悪いときは運転を控えるなどの配慮も必要です。